

# STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

## ただ今留学中

現在、3名の本校高校生が、オーストラリア、アメリカ、韓国に留学しています。レポートが届きましたので、紹介します。

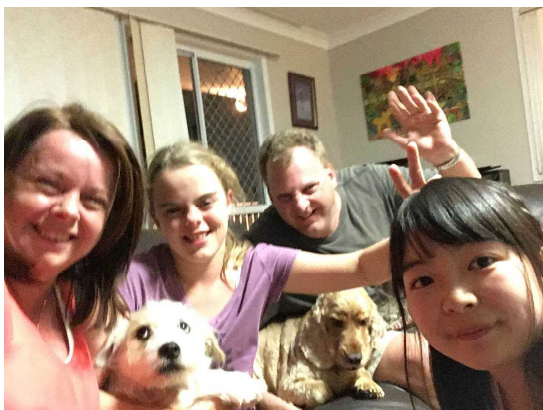
### オーストラリアの夏

I11 伏木彩澄菜

姉妹校中期留学

留学先：Citipointe Christian College (オーストラリア)

期間：2016/7/16 ~ 2017/6/24



オーストラリアは春が終わりかけ夏が始まりそうです。オーストラリアの夏は日本と少し違います。日なたはとても暑くフラフラしますがひかげは涼しく感じます。日なたと日陰の温度差がすごいです。

九月から十月にかけて二週間のホリデーがあり、いろんなところに出かけました。三泊四日でレインボービーチの方に出かけました。なぜレインボービーチと呼ばれるかという、何色かの色の砂で形成された地層があるからです。海で泳げる範囲は安全面から限られているので、虹色のところは遠くからしか見えませんでした。とても綺麗でした。お土産屋さんには虹色の砂がたくさん売られています。オーストラリアの海はとても綺麗で透明でした。それに、日本より少し塩っぱく感じました。ビーチの砂は、とてもサラサラ

で砂で遊ぶと思ってサラサラすぎて固まりませんでした。ビーチで遊んでいると、海の奥の方に何頭かのクジラが出現しました。クジラの他にもイルカやクラゲも見ました。野生のクジラやイルカを見るのは初めてで、さすがオーストラリアだなと感心しました。この旅行中にクジラは二回見ることができました。

別の日、ホストファミリーに「今日は山に登るよ」と言われていました。ホストシスターが靴で悩んでいてホストマザーに砂があるからビーチサンダルを勧められていました。山に登りに行くのになぜ砂がある？と疑問に思いながらも行ってみると、本当に山の上に砂がありました。ビーチの砂が風で運ばれてきたらしいです。とてもそんなふうには思えないサイズでした。

最近、学校の近くでコアラが巣を作ったみたいで学校の方に遊びにきます。授業中にコアラが来たといって授業を中断して見に行ったり、教室の横のバルコニーのドアを開けておくと鳥が入ってきてみんな手や肩に乗せて遊んだりしています。コアラに関しては先生が名前をつけてペットのようにかわいがっています。

オーストラリアは自然がいっぱいで驚くことがたくさんありとても面白いです。

(2016/10/29 受信)

### 辛いことも、楽しいことも

I21 小田 桃加

姉妹校中期留学

留学先：昌原南中學高等学校 (韓国)

期間:2016/10/5 ~ 2016/12/28

留学へ行く前の私は、韓国人に対して「日本が嫌いである」というイメージを持ってい

ました。しかし、韓国に来てみると、日本の文化、日本人の考え方に興味のある人が多かったです。学校では、韓国語の話せる日本人留学生としてとても仲良くしてくれます。廊下ですれ違えば、「アンニョン、ももか!」と笑顔で挨拶してくれるので、とても嬉しいです。

韓国人は自分の国に対して誇りを持っていると感じました。道路に韓国国旗、教室にも韓国国旗、また、会話のなかでは「私たちの言葉」、「私たちの国」という表現が出てきます。韓国人の人だけが許される「私たちの」という表現なので、聞いていて羨ましく感じます。



韓国の学校では日本では考えられないようなことがあります。中でも一番驚いたのが、時間のルーズさについてです。移動教室の時、授業の始まりのチャイムがなっているにもかかわらず、急がず、焦らず、歩いて行きます。ある程度の始業時間は守るものの、多少の遅れは先生

も全く怒らず、生徒たちも、いつものことのように、自分の席に着きます。私一人だけが時計を気にしているように感じます。時間に対しての文化の違いがあることに驚きです。

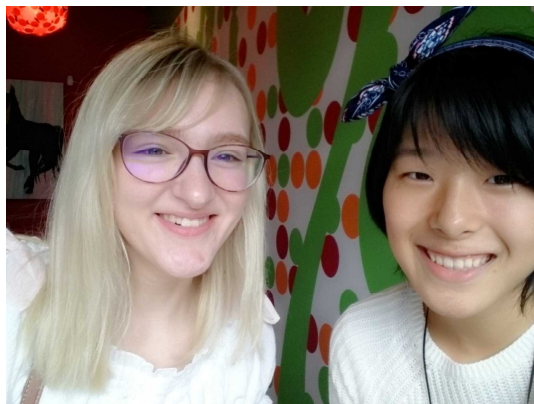
韓国では高校生になると、야자(ヤジャ)という、夜間に自習をすることが、授業の一部としてあります。その自習が夜の9時まで続くのです。야자는とても辛く、当然、話すことも、寝ることも許されないのです。毎日疲れて家に帰ります。いつの間にか、私の生活は、朝は6時に起きて、夜は10時に寝るという早寝早起きの習慣がつかしました。

辛いことも、楽しいこともあってこそこの留学だと思えます。この留学で私は、たくさんのことを学び、より良い人間へと成長することができそうです。(2016/10/31 受信)

## アメリカの宗教体験と消費社会

111 岩田 圭果  
姉妹校長長期留学

留学先： Grand Rapids Christian High School (アメリカ)  
期間：2016/8/5 ~ 2017/3/25



10月中旬に、教会のコースグループ(高校生)でキャンプに行く機会がありました。教会での集まりなので、ほとんどが礼拝で、神様についてずっと語っている、歌っている3日間でした。と言っても、若い人向けに作られたキャンプなのでノリノリの歌が多かったです。みんなとても活気があって、正直、自分についてはいけませんでした。

私はキリスト教を信仰しているわけでもなく、ただ色んな人と話せると思って一人で軽い気持ちでキャンプに参加しました。

ですから、礼拝をしている時はかなり違和感を抱いていました。一人孤独を感じる時もありました。私が無宗教なことを他の人が聞いたらどう思うんやろ・・・とかずっと考えていました。

2日目の夜、みんなで歌を歌っていたら急にステージに立っていた人が泣き始め、それにつられて半数以上の人泣き始めました。中には床に倒れこんだり、叫んだりしている人もいて、それを慰めている人もいて、私にとっては衝撃的な場面でした。そして、無宗教であるにもかかわらず軽い気持ちでキャンプに参加した自分が恥ずかしく、他の人に申し訳なく感じました。

しかし、勇気を出して友達にそのことを話すと、すんなりと受け入れてくれました。誰もが無宗教を理解するとは思えないので、私はラッキーだったなあと思います。

日本では絶対に体験できないようなことを体験させてもらいました。

さらに、10月の1か月間で、様々な場面でアメリカの消費社会を体験しました。このキャンプでは、誰も気にすることなく平気で食べ物を残すし、捨てるし、本当にもったいなあと心が痛くなりました。私は、宗教を信仰している人ほど食べ物を大切に扱うと思っていたので、本当に驚きでした。だからと言って自分が食べても太るだけで意味もないし、無力感で胸がいっぱいでした。また、教会でハロウィンパーティーを手伝った時も、何万個ものキャンディやチョコレート、千個ほどのホットドッグがありました。私は見ただけで食欲が無くなってしまいました。余ったものはほとんど捨てられていました。さらには、アメリカ史の授業の中でも戦争に関しての授業だったため、先生が生徒に紙を丸めるように指示し、みんなで大量の授業ノートの紙を丸めて投げあいをしたりしていました。同じクラスのボリビア人の友達は、まだ使える紙が大量に捨てられていくのを見て「自分の国なら先生から紙を無駄に使うなど教えられる。これは授業なの？」と自分よりも衝撃を受けていました。私も、日本では(少なくとも私が暮らしてきた中では)このような光景をほとんど見たことがないので、驚きを隠せませんでした。

話は変わりますが、こちらでは日本語を学ぶことが難しいからか、日本に興味を持つ人

が少ないようです。しかし、その中でも日本語を大学で学んでいる高校二年生の友達と日本のことを話し合うグループに出会い、週末などに一緒にいることが多くなりました。違う学校に通っているのですが、土日に一緒に親子丼を作ったり、ダウントウンに行ったりしています。また、中国人の友達が日本語を教えて欲しいと言ってきて、本を貸してあげたりひらがなを教えてあげたりしています。自分の国に興味を持ってもらえることはこんなに嬉しいことなんだなあと感じています。

3か月ほど経った今、授業では、少しずつ英語に慣れてきて今自分が何をやればいいのか聞かなくてもわかるようになってきました。課題やテストもどのようにやればいいのかもわかってきたけれど、まだ一般の生徒のように点数を取るのには難しいです。しかし、少しずつ進歩できている感覚があることがとても楽しいです。友達とは、一対一ならなんとなく話せるけれど、大人数だとどうしても気がひけてしまって何も話すことができません。今、そのことがとても悔しいです。

リスニングは、大分できるようになってきたので、これからはもっと自分から色々話しかけることに挑戦していこうと思います。

(2016/11/4 受信)

## 海外研修旅行と受け入れ予定

高校2年生は、高校生活最大のイベントの1つ、海外研修旅行に出かけました。今年も、学年制普通科クラスは、韓国、中国南京、香港、シンガポール、マレーシアに、単位制普通科クラスは台湾に、国際コミュニケーションクラスはオーストラリアに、それぞれ行きます。普通科のコースは、4泊5日(11/10～11/14)ですが、国際コミュニケーションクラスは、語学研修ということで11泊12日

(11/7-11/18)の日程で実施。

いずれも、それぞれの訪問先で、姉妹校などとの交流を行います。そのうち、マレーシアとシンガポールの学校の生徒たちは11月中に、韓国の生徒は来年1月に、それぞれ本校を訪問し、ホームステイを行います。相互に行き来することで、文化理解を深める取り組みとなっています。

## Wesley Methodist School (マレーシア)

最初に受け入れるのは、マレーシアの姉妹校 Wesley Methodist School です。首都のクアラルンプールにあるキリスト教主義の共学校です。

11月18日(金)～21日(月)、36名(男子15名、女子22名)の高校生が、引率の先生と共に、日本旅行をする中で、本校を訪問し交流をします。滞在中は、ホームステイをします。研修旅行で同校を訪問した生徒たちを中心とした人たちがホストファミリーになります。

滞在中の日程は次のとおりです。

【11月18日(金)】午後3時 学園に到着

午後3時45分～午後5時 歓迎会(礼拝堂)

【11月19日(土)】～【11月20日(日)】ホストファミリーと過ごします

【11月21日(月)】午前8時15分 本館ロビーに集合 お別れ

※一行は、21日(月)は、本校での滞在の後、奈良・東大寺、大阪市環境局舞洲工場、心齋橋商店街を見学し、ホテルに宿泊。翌11月22日(火)ユニバーサルスタジオ見学のあと、夜の便で関空から帰国します。

## St. Andrew's Junior College (シンガポール)

次に受け入れるのは、シンガポールの提携校 St. Andrew's Junior College です。キリスト教主義の共学校です。

11月25日(金)～28日(月)、34名(男子10名、女子24名)の高校生が、引率の先生と共に、本校を訪問します。女子の人数が多いため、コース以外の生徒にホストファミリーの協力を得て受け入れます。

【11月25日(金)】午後12時45分 学園に到着

昼休み～5限 昼食交流会(調理と食事会)(教育会館)

6限 歓迎会(礼拝堂)7限 武道体験(柔道、剣道)(武道場)

放課後 ホストファミリーと対面(サポーターズオフィス)

午後5時半 St. Andrew's Junior College 主催の夕食会(市内レストラン)

ホームステイ

【11月26日(土)】～【11月27日(日)】ホストファミリーと過ごします

【11月28日(月)】ホスト生徒と一緒に、礼拝、1、2限の授業を受けます

午前10時45分 お別れ(校門にて見送り)

## 両校の校舎と校章



Wesley Methodist School



St. Andrew's Junior College

\*\*\*\*\*

## 短期留学

35回目を迎える短期留学は、来年3月18日(土)から3月29日(水)の日程で実施されます。今回は、ニュージーランドとオーストラリアの2つのコースです。次の2校との交流が予定されています。

Hobsonville Point Secondary School (ニュージーランド・オークランド)

John Wollaston Anglican Community School (オーストラリア・パース)

いずれも新しい交流校で、将来姉妹校の提携を結ぶことを考えています。定員は、それぞれ15名で、すでに選考試験が終了しました。参加者は出発までの4か月、事前学習に取り組みます。

